

# 高退互報

退職・現職両会員配布

第107号

令和6年7月10日

発行 一般財団法人 愛知県公立高等学校教職員退職互助会

〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目49番10号 愛知県教育会館5F TEL (052) 261-2248

\*ホームページ <http://www.saturn.dti.ne.jp/aitikoti/index.html> (高退互で検索) FAX (052) 241-0318



ホームページは「高退互」で検索してください。愛知県退職教職員互助会は小・中学校の互助会ですのでご注意ください。



ご挨拶

理事長 高井 俊直

この度、六月二十四日の理事会におきまして、理事の皆様のご同意により、理事長を仰せつかることとなりました。もとより微力ではございますが、理事の皆様のお力添えをいただきつつ、理事長の職責を果たすべく尽力してまいります。

コロナ禍の三年間は、教職員及び児童生徒にきわめて大きな影響を及ぼしました。これからは教員相互の意思疎通の機会や児童生徒の実体験の充実を図り、希薄化した人間関係等を回復させ、令和の日本型学校教育、新しい時代の学校教育への変革・移行に強い意識をもって取り組む必要があると考えています。

さて、二〇二五年問題では、いわゆる「団塊世代」がすべて七十五歳以上の後期高齢者になり、医療や介護などの社会保障費の増大が懸念されています。後期高齢者の医療費の窓口負担は一昨年前十月に引き上げられたばかりですが、さらに改定されることも視野に入れないといけないようです。本会では、退職会員すべての生涯にわたる給付予想額、いわゆる責任準備金は確保しています。会員の皆様は安心して今後の生活を過ごせるよう本会を安定的に引き継いでいくことが大切です。高齢になれば誰しも、病気や怪我などが増えてまいります。そのなかで、安心して生活を営むことのできるために、本会の存在意義はいよいよ大きくなっていると思います。会員の皆様には引き続き本会へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 理事会・評議員会の報告

- ・療養給付総額はほぼ横ばいであったが、今後の療養給付額増加に備えて責任準備金を36.8億円確保した。
- ・令和5年度末は定年退職者がいないことで出資金が激減するため、令和6年度については責任準備金を2.51億円戻し入れて対応する。

第266回理事会が5月20日に開催され、令和5年度の事業報告及び決算報告、さらに令和6年度の事業計画と予算案などが承認されました。事業報告及び財産と収支の概要は2面、3面に掲載しています。

6月19日には、第105回評議員会、さらに6月24日には第267回理事会が開催され、理事長に高井俊直氏が選任されました。役員一覧は2面に掲載しています。

## 「制度・財政検討委員会」での審議内容

漸減傾向の続いている現職会員の増加に向け、身近な方からの声かけとともに現職会員の積立は保全されていることへの周知が必要。互助事業の委託契約の有料化で膨らんでいる管理費を抑えるため早期の内製化をはかるべき。定年延長に伴う隔年での出資金減少という財政上の問題については、具体的な影響を見極めた上で対応すべき。資産運用益でまかなわれている互助事業については、見直しをすべきかどうか運用収益の推移を注視して検討していく必要がある。